

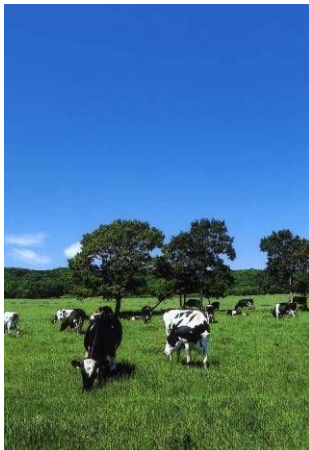
農林水産省農村振興局長賞

北海道 つるいむら 鶴居村 鶴居村あぐりねっとわーく

日本の中のヨーロッパ ～湿原と丹頂、酪農景観が織りなす、美しい村づくり観光～

鶴居村は、釧路市の北西部 40km に位置し、南部は釧路湿原を中心とする湿原・湿地帯、北部は丘陵地帯で、酪農を基幹産業とする風光明媚な村である。村の名前が示すとおり、特別天然記念物タンチョウの生息繁殖地であり、北海道においても特異な自然環境豊かなところである。村として、“日本で最も美しい村連合” に加盟し、村民に対する啓発活動として、小中学生や一般村民を対象にした美しい村を残すための標語を募集したり、ゴミの不法投棄を防止し、きれいにする村民クリーン作戦、各種講演会、異業種交流の実施など積極的な取組を行っている。

このような中、主な酪農家やレストラン、観光施設等の 8ヶ所が連携し、美しい村づくりを民間レベルで促進し、それを活かした交流を進めるネットワークが「鶴居村あぐりねっとわーく」である。本組織は、村行政や村観光協会等と密接な連携を図り、酪農郷の環境に関する勉強会の開催や村民クリーン作戦へも積極的に取組んでいる。また、小中学生と一緒にいる農業体験などのメニューづくりと実践、酪農景観を活かした料理のレシピづくりなど、景観の保全と活用の取組を推進し、美しい村づくりに対する村民意識が浸透している。



乳質、日本一の酪農郷



釧路湿原など自然環境が豊かな地域